

会員の皆様

日本福祉教育・ボランティア学習学会
研究・倫理担当 松山 毅
川島 ゆり子

課題別研究 次期研究テーマ公募のご案内

日頃より、日本福祉教育・ボランティア学習学会の活動を通じ、福祉教育・ボランティア学習にかかわる研究の質を高めていくこと、実践の幅を広げ厚みを増すこととそれらの往還を推進していくことにご理解・ご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本学会では、これらの学会活動を発展的・継続的に推進していくために、課題別研究のテーマを毎年定め、チーム研究により3年間の蓄積を行い、その成果を学会機関誌に特集論文として公表してまいりました。

□過去のテーマは以下の通りです

2010-2012	福祉教育とメンタルヘルス
2011-2013	“いのちの持続性”と福祉教育・ボランティア学習
2012-2014	“サロン”の可能性を探る福祉教育・ボランティア学習
2013-2015	青年期における社会福祉の学び-高大接続-
2014-2016	シニア世代と共にコミュニティを拓く ～シニアボランティアの育成に向けて～
2015-2017	食でつながるコミュニティ
2016-2018	合理的な配慮は福祉教育・ボランティア学習を生み出すか
2017-2019	共生社会を創造するサービス・ラーニングの評価
2018-2020	介護等体験の教員養成における現状と学びとしての課題
2019-2021	多文化共生とボランティアリズム
2020-2022	ポストコロナ社会の福祉教育・ボランティア学習の価値と実践の問い直し
2021-2023	『語り』をめぐる福祉教育・ボランティア学習の可能性
2022-2024	SDGsと福祉教育・ボランティア学習
2023-2025	「社会福祉・介護福祉検定」のレリバンス
2024-2026	インクルーシブボランティア～誰もが参加できるボランティア活動を目指して～
2025～2027	社協職員の福祉教育実践における価値の言語化 ～多様な実践の蓄積から紡ぎだす基盤としての価値～

課題別研究にかかわる機会は、学会員に対して広く開かれており、今後さらに多様性を持ったテーマを発展させていきたいという思いから、課題別研究のテーマおよびメンバーを公募させていただきます。

◆ 応募要領

課題別研究を3年間取り組んでみたいと思われる会員は、以下について学会事務局まで、別紙の応募フォームにご記入の上 メールにてエントリーをお願いします。

1. 課題別研究のテーマ（過去のテーマと類似していてもかまいません。）
2. 研究の背景と目的・3年間の研究計画の概要
3. 課題別研究の世話人（複数名）

* 課題別研究はチーム研究ですので、必ず複数の世話人によるチームでの応募をお願いします。

応募締め切り 3月 31日(火) 24時まで
エントリー先アドレス jimukyoku@jaass.jp

応募いただきました課題別研究テーマの中から、理事会の検討を経て次期テーマを決定させていただきます、代表者に通知をさせていただくとともに、学会 HP でも公表いたします。

◆ 課題別研究チームの研究推進スケジュール

1年目	11月開催	全国大会2日目	課題別研究チーム分科会企画運営
2年目	2027年度		〃
3年目	2028年度		〃
4年目	2029年度	課題別研究3年間の成果の学会員への公表	

ご不明な点がありましたら、研究倫理担当理事：松山毅 tmatsuya@juntendo.ac.jp までお問い合わせをお願いします。 会員の皆様のご応募をお待ちしております。

以 上